

勝山水菜

勝山市の左義長祭りが行われる2月頃から、雪を掘り出しながら収穫され、「奥越に春を告げる野菜」として愛されています。

1 生産概況

①生産地

ナバナの仲間で、勝山市北市地区、郡地区などで栽培されています。

②栽培の概要

品 種：北市水菜、郡水菜、平泉寺水菜など

作 型：水稲栽培が終わった9月頃から播種が始まり、年明け後の1月にトンネルを掛けて保温して、2月下旬から4月上旬にかけて収穫されます。

その他：勝山市では冬期間1m近い積雪がありますが、ビニルトンネルを掛けることで保温し、トンネルに積もった雪を川の水を使って溶かすことで雪の中でも収穫を可能にしています。

雪の多い年にはトンネルがつぶれるなどの苦勞もありますが、農家の方々は勝山を代表する伝統野菜として熱心に栽培しています。

